



サン・フレアの講座で使用されているテキスト。各講座において学べるべきことがテキストとしてまとめられており、体系的に翻訳スキルを習得することができる。通学（オンライン）・通信講座どちらも共通で使用されている。

渡辺…翻訳学校では何かわからないことがあったとき講師に質問できますが、プロは何事も独力で解決していかねばなりません。受講生には今のうちから問題意識を持って翻訳に取り組んでいただき、卒業後は自分の力で仕事ができるようになっていただきたいと思っています。翻訳のプロセスに重点を置くのはそのためなんです。

小暮…なるほど、よくわかりました。

渡辺…小暮さんは授業中、よく質問をしていました。不明点をそのままにしないでそのつど解決しようとするのは、とてもよい学習姿勢です。それに、ムードメーカーの役割を担ってくださったから、クラス全体が明るい雰囲気の中で学び合うことができました。

小暮…中級講座は楽しかったです。クラスメートの方々が皆さん熱心で、いつも引っ張っていただいていた。

渡辺…中級講座を修了して、現在は通信で上級講座を学ばれていますが、よく復習もしていますね。小暮さんの訳文を添削していると、学習したことがしっかりと反映されていて感心します。用

渡辺…翻訳50年の翻訳会社は、実務翻訳で50年以上の実績を誇る(株)サン・フレアが運営する翻訳学校だ。特許、医薬、法務、金融、ITなど産業翻訳の多様な分野をカバーした講座はレベル別に分かれており、初級者から上級者まで幅広く対応している。

通学科は年4回（4月・7月・10月・1月）開講、通学科と同一のテキスト・カリキュラムを採用した通信科は随時受講可能であり、ライフスタイルに合わせて通学科／通信科を選択できるので無理なく学習を続けられる。2022年1月現在、通学科はオンラインによる授業を実施しているが、新型コロナウイルス感染症収束後もオンライン授業の提供は継続する予定。これにより、遠方に在住している人や多忙で通学時間が取れない人も対面式オンラインで講師から指導を受けられることになり、受講生にとってはさらに利便性が高まったといえそう。

スペシャリストによる実践的できめ細かな指導

通学科は最大6名の少人数クラスで、各分野の現役翻訳者が講師を務め、実践的な翻訳テクニックを直接指導する。通信科は翻訳課題への添削とコメントを通してきめ細かく指導し、受講生からの疑問・質問にも丁寧に回答する。

今回は、通学科の中級講座「医学・薬学」、短期講座「医学・薬学プレ上級」を修了し、通信科で上級講座「医学・薬学」を学んでいる小暮佳代さん、講師の渡辺理恵子先生にお越しいただき、「医学・薬学」講座の特徴や医薬翻訳市場について語っていただいた。

語集を作っているだけでも検索できるようにしているんですね。

好きな気持ちがある翻訳を学び続ける原動力になる

渡辺…仕事ではどんな分野を手がけていますか。

小暮…IT、医療機器、チャイルドケアなどの案件をいただいています。「医学・薬学」講座を受講して、英訳より和訳のほうがおもしろいと思うようになったので、今は英日翻訳をメインにしています。

渡辺…「医学・薬学」講座で学んだことが役立っていますか。

小暮…調査の仕方や翻訳全般に関わるテクニックなど、渡辺先生に教えていただいたことを思い出しながら仕事に臨んでいます。いずれは医薬分野の翻訳に携わりたいのですが、どんなニーズがあるでしょうか。

渡辺…医薬分野の翻訳はいつの時代も着実にありますし、産業翻訳の他の分野よりニーズは高いと思います。新型コロナウイルス感染症が流行して以降はコロナ関連の翻訳が増えています。治療薬の承認が急がれていますので、効果があると思われる薬剤の臨床試験に関する翻訳が急増しています。

小暮…やはり治験関連の案件が多いということですね。

渡辺…医薬業界ではグローバル化が進んでいます。世界規模で新薬の開発・承認をめざす国際共同治験のように、複数の国や地域の間で情報を共有することも多くなりました。その意味で、グローバル化に対応できる力を持っている翻訳者は強いと思います。

小暮…そのほか、医薬翻訳者にはどんなことが求められていますか。

渡辺…翻訳スキルが高いことが前提です

サン・フレア アカデミー

実務に即した実践的な講座ラインナップで
現役プロが翻訳のノウハウとテクニックを直接指導



実務翻訳50年の翻訳会社は、実務翻訳で50年以上の実績を誇る(株)サン・フレアが運営する翻訳学校

サン・フレア アカデミーは、実務翻訳で50年以上の実績を誇る(株)サン・フレアが運営する翻訳学校だ。特許、医薬、法務、金融、ITなど産業翻訳の多様な分野をカバーした講座はレベル別に分かれており、初級者から上級者まで幅広く対応している。

通学科は年4回（4月・7月・10月・1月）開講、通学科と同一のテキスト・カリキュラムを採用した通信科は随時受講可能であり、ライフスタイルに合わせて通学科／通信科を選択できるので無理なく学習を続けられる。2022年1月現在、通学科はオンラインによる授業を実施しているが、新型コロナウイルス感染症収束後もオンライン授業の提供は継続する予定。これにより、遠方に在住している人や多忙で通学時間が取れない人も対面式オンラインで講師から指導を受けられることになり、受講生にとってはさらに利便性が高まったといえそう。

スペシャリストによる実践的できめ細かな指導

通学科は最大6名の少人数クラスで、各分野の現役翻訳者が講師を務め、実践的な翻訳テクニックを直接指導する。通信科は翻訳課題への添削とコメントを通してきめ細かく指導し、受講生からの疑問・質問にも丁寧に回答する。

今回は、通学科の中級講座「医学・薬学」、短期講座「医学・薬学プレ上級」を修了し、通信科で上級講座「医学・薬学」を学んでいる小暮佳代さん、講師の渡辺理恵子先生にお越しいただき、「医学・薬学」講座の特徴や医薬翻訳市場について語っていただいた。

専門性の高い医薬分野を基礎から実践まで体系的に学べる「医学・薬学」講座

原文から訳文に仕上げるプロセスを大切に

渡辺理恵子先生（以下、渡辺）…小暮さんは医薬業界で勤務経験があるそうですが、中級講座「医学・薬学」を受講してどんな感想を持ちましたか。

小暮佳代さん（以下、小暮）…CROや製薬会社に勤めた経験があり、医薬分野についてはある程度わかっているつもりでした。ところが、いざ受講を始めたからそれまでの知識が全く役に立たず、身につけた専門性がすべて崩れ去ってしまったような感覚でした。毎回の課題をこなすのは楽しくもあり苦しくもありましたが、とにかく新しいことをたくさん習得できたように思います。

渡辺…講座を受講して、意識的に取り組むようになったことはありますか。

小暮…調べる作業にかなり時間をかけ

対談した方々



中級・上級講座「医学・薬学」
短期講座「医学・薬学プレ上級」
渡辺理恵子先生
(わたなべりえこ)
早稲田大学卒。大手企業勤務を経て医薬翻訳を学び、フリーランスの翻訳者に。サン・フレア アカデミーの中級・上級講座「医学・薬学」、短期講座「医学・薬学プレ上級」の講師を務めている。『非侵襲的人工呼吸法ケアマニュアル』ほか訳書多数。



中級講座「医学・薬学」修了生
短期講座「医学・薬学プレ上級」
上級講座「医学・薬学」受講生
小暮佳代さん
(こぐれ・かよ)
神戸市外国語大学英米学科卒。外資系消費財メーカー、CRO、製薬会社勤務を経て2021年9月よりフリーランス翻訳者。サン・フレア アカデミー通学科で中級講座「医学・薬学」、短期講座「医学・薬学プレ上級」を学び、現在は通信科で上級講座「医学・薬学」を受講している。

コース紹介

コースの詳細は、巻末の「全国通訳・翻訳スクール
コースガイド」内に掲載しています

通学・オンライン・通信講座

初級講座

はじめての翻訳文法／はじめての翻訳技法／はじめての特許翻訳 など

中級講座

医学・薬学／IT・通信／特許明細書A／B／英訳の基本I など

上級講座

医学・薬学／IT・通信／特許明細書A／B／英訳の基本II など

特別講座

治験和訳演習（臨床・非臨床）／金融・経済英訳演習／PC活用講座 など

ここも チェック

プロになるためのサポート体制 合格すれば登録翻訳者に！ 翻訳実務検定TQE

翻訳実務検定TQEは、サン・フレアアカデミーが年3回実施している翻訳検定試験。優れた翻訳能力を持つ人を「翻訳実務士®」として認定し、広く活躍の場を提供している。点数に応じて1～5級の判定を行い、合格者（3級以上）を(株)サン・フレアに翻訳者として登録。過去30年で約6000人の翻訳者が誕生している。

試験は7言語20科目（16分野）で実施され、希望する分野と言語ごとに受検できる（複数選択可）。どなたでも受検でき、在宅での受検となる。試訳・ポイント解説・個別コメント付きで結果が通知されるので、活躍の場を求めている人はもちろん、実力を計りたい人にも有益な試験だ。

問い合わせ先

サン・フレア アカデミー

<https://www.sunflare.com/academy/>
〒160-0004 東京都新宿区四谷4-7 新宿ヒロセビル2F
☎03-6675-3965